

○事業所名	放課後等デイサービス なな 曽根教室			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 2日 ～ 2025年 5月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 2日 ～ 2025年 5月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	タブレットを使用して、勉強が苦手な児童にアプリで楽しく学習をして理解に繋がっています。未就学児の児童には、リズムに合わせて画面をタッチしたり、クッキングを疑似体験できたり、電車や自動車、好きなキャラクターを動かしていくことで、タブレット操作に慣れていきます。	文字や数字を書くことが難しい児童でも、タブレットを用いて、個人に合った、カラー（視覚的）や音（聴覚的）に取り組むことで、興味や楽しさを感じながら取り組めるようにしています。	タブレットの学習に興味を持っている児童や得意な児童に向けて、特定の曜日にて、パワーポイントやプログラミング等の充実した内容の取り組みを行います。
2	学校でもタブレット授業があるので、プログラミングパワーポイントに取り組んでいきます。また他学年の児童に教えてあげたり、一緒に何かをする楽しみを見つけ、協調性や共同作業への参加を育んでいます。	祝日や長期休暇では、クッキングや外出イベントをします。内容を決める時は子供達の考えや意見等を参考に、買い物体験やタブレットで調理方法を調べて、クッキングを行っています。	事業所内外で、あまり児童が体験や経験をしていないイベントを企画し、その企画を通じて、できることを増やしていきます。
3	祝日には公園や公共施設への社会見学のためのお出かけやクッキング等を企画して、祝日の特別感を子供達には感じてもらえるようにしています。	タブレットや座学だけではなく、事業所内の広さに合わせたダンスやボール運動等の活動で、体を動かすことやルールを理解し、守ることの大切さを取り組んでいます	児童や保護者様のご要望をお聞きして、満足度の高いご利用にしていければと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	粗大運動が困難である。	スペースが限られているため、体を使う活動に限りがある。	児童の意見を聞きながら、職員が小スペースでも楽しく運動できる取り組みを提案している。
2	地域に開かれた施設運営。家族や地域の方が、参加できる行事や試み。	地域の方が参加する行事は、企画が難しくご家族様も望まれていない方もおられるので開催は難しいと考えている。	保護者様と児童で参加できるイベントを企画を検討している。
3			